

人と人と生きること

相洋中学校 三年 武井 悠

あなたは、人とのつながりを大切にできているだろうか。人は一人では生きていけない。日々の生活の中で誰かと支え合い、関わり合いながら生きている。中学校生活を通して、私は「人と人との関わりの大切さ」をことあるごとに実感してきた。部活動や日常生活の中で、支えてくれる人がいるからこそ、前に進むことができているし、自分自身も少しずつ成長することができていると思う。

私が所属している和太鼓部では、演奏会に向けて仲間とともに日々練習に励んでいる。太鼓の演奏は、当然自分一人だけでは成り立たない。全員のリズムがそろい、音が重なることで、初めてひとつの演奏が完成する。部員のみんなは和太鼓が大好きで、熱い想いを持っている人がほとんど。だからこそ意見が食い違ったり、練習がうまくいかなかったりすることもあり、悔しくて涙を流したことも何度もあった。しかし、そんな時に肩を並べて支えてくれたのは、同じ気持ちを持つ仲間だった。一緒に悩み、励まし合い、喜びや悔しさを分かち合う中で、私は人と協力することの意味や、苦楽を共にした仲間と達成感を分かち合えることの喜びを学んだ。

今、私は部長として部を引っ張る立場にある。自分が中心に立つことで、改めて昨年や一昨年の先輩方のすごさを実感している。私たちを支え、励まし、いつでも冷静に全体を見てくれていた先輩たちの姿は、今の私にとっての目標でもある。先輩たちがいてくれたからこそ、私も今、こうして成長することができているのだと思う。

部活動だけでなく、日々の生活の中でも人との関わりは欠かせない。「おはようございます」「こんにちわ」、帰り際の「さようなら」「また明日」といったあいさつは、たった一言でも相手との距離を自然と縮めてくれる。何気ない笑顔や、友達との何気ない会話が、ふとした瞬間に心を軽くしてくれることもある。みんなと笑い合えるこの日常は、当たり前のようにいて、本当はとてもしんどいことなのだ、と最近よく感じるようになった。

私は中学校生活を通して、人に頼ることの大切さも学んだ。以前は「自分一人で頑張らなければ」と思っていたが、時には周りに助けを求めても良いのだと気がついた。誰かを頼ることで関係が深まり、また誰かに頼られたときには、自分も力になりたいと思えるようになった。そして、自分が笑顔でいれば、まわりも自然と明るく、笑顔になるこ

とにも気がついた。笑顔は不思議な力を持っていて、言葉以上に人の気持ちをつなげてくれる。

こうして振り返ると、私の今の生活はたくさんの方々が支えてくださっているからこそ成り立っている。うれしい時も、つらい時も、そばに誰かがいてくれた。人と人が関わることで、生まれる優しさがある。私はこれからも、関わってくれるすべての人への感謝を忘れず、自分も誰かの支えになれるような存在でありたいと思う。

人と生きるとは、簡単ではない。だからこそ、関わり合い、支え合うことに意味がある。これから、人と人とのつながりを大切にしながら、自分らしく成長して生きていきたい。